

No.9 仮定法の重要表現①

(1) () your financial help, we wouldn't be able to carry out our plan.

- ① Except ② Instead of ③ Thanks to ④ Without (センター1992年本試)

(2) () his advice, we would never have finished the work on time.

- ① Accepted ② Excluding ③ Not for ④ Without (センター2008年本試)

(3) If it were not () air and water, no creature could live.

- ① without ② but ③ by ④ for

(4) () her effort, she could not have passed the exam.

- ① If she were not for ② If she had not been ③ Had it not been for ④ Not for

もし～がなければのパターン

(i) 「もし(今)～がなければ」

- ① If it were not for～
- ② Were it not for～
- ③ Without～
- ④ But for～

(2) 「もし(過去に)～がなかったならば」

- ① If it had not been for～
- ② Had it not been for～
- ③ Without～
- ④ But for～

※ Without～&But for～に関しては、現在や過去に関係なく使える！

(ex1) If it were not for water, all living things could not live.

(もし水が無ければ、全ての生き物は生きることはいできないだろう)

(ex2) If it had not been for your advice, I would have failed.

(もしあなたのアドバイスが無かったならば、私は失敗していただろう)

With～について

With～「～があれば」という意味。But for～, Without～の反対表現と考えればよい。もちろん現在や過去に関係なく使える！現在の仮定ならば「～があれば」、過去の仮定ならば「～があったならば」という意味になる。

【解答】

(1) ④ (2) ④ (3) ④ (4) ③

【解説】

(1) 主節の部分に **would+原形** という形が使われているので仮定法の文章と予想。今回は④の **without** を選ぶ。**without** は仮定法過去や仮定法過去完了の文章に関係なく使える便利な表現だ。(ちなみに今回は仮定法過去の文章)

【訳】 あなたの経済的援助がなければ、私たちは計画を実行することができないだろう。

(2) 主節の部分に **would have never** 過去分詞 という形が使われているので仮定法の文章と予想。今回は④の **without** を選ぶ。**without** は仮定法過去や仮定法過去完了の文章に関係なく使える便利な表現だ。(ちなみに今回は仮定法過去完了の文章)

【訳】 彼のアドバイスがなかったならば、私たちは決してその仕事を時間通りに終えることができなかつただろう。

(3) **If it were not for~** の形とすぐ予想できる。正解は④になる。

【訳】 もし水や空気が無ければ、どの生物も生きることはできないだろう。

(4) 主節の部分に **could not have** 過去分詞 という形が使われているので仮定法の文章と予想。今回は③の **had it not been for** を選ぶ。**If it had not been for** が **if** 省略による倒置により **Had it not been for** という形になっている。

【訳】 もし努力しなかつたら、彼女はその試験に合格することができなかつただろう。